



研究紹介

ホーム > 研究紹介 > 研究領域 > 援助戦略 > イスラム紛争影響国における人的資本形成とジェンダー平等：イエメンにおける基礎教育の事例研究

イスラム紛争影響国における人的資本形成とジェンダー平等：イエメンにおける基礎教育の事例研究

終了プロジェクト

男女問わずすべての人々に良質の教育を普及することは、社会における不平等の是正、さまざまな対立や紛争の要因を緩和するために重要なことです。本研究では、アラブ地域において最も貧しい国の一つであり、脆弱な状況にあるといわれるイエメンについて、基礎教育の普及やジェンダー格差解消へ向けての課題の進捗状況や問題点について検証し、どのような条件下でこういった政策が機能し得るのかを、文化宗教的な要素にも留意しつつ理解を深めることを目指しています。研究では、教育機会におけるジェンダー格差解消の地域差（州、郡、コミュニティー・学校レベルでの差異）を量的側面から分析するとともに、学習成果といった教育の質的側面、ジェンダーに対する考え方や女子教育の紛争予防に対する潜在的な役割など、教育の社会経済効果についても検討します。

研究領域：

援助戦略

研究期間：

2010年4月1日から
2014年3月31日

研究成果（出版物）

[Determinants of School Enrollment of Girls in Rural Yemen: Parental Aspirations and Attitudes toward Girls' Education](#)
[Challenges of Quality of Learning Outcomes for Countries with the Unfinished Agenda of Universal Primary Education and Gender Parity: The Case of Yemen](#)

ページを共有する

研究所の最新情報をお届けしています。よろしければ、ご登録ください。

メールマガジン

RSS

公式SNS



YouTube



サイトポリシー

プライバシーポリシー

個人情報保護

情報公開



国際協力機構 研究所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

電話番号：03-3269-2911 ファックス：03-3269-2054

公式SNS



YouTube